

平成30年3月14日

保護者 様

柏市立豊小学校
校長 池田真理子

平成29年度 学校評価について

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見については、真摯に受け止め、次年度以降の学校運営に生かしていきたいと考えています。

さて、学校評価票の評価項目1～19の集計結果に関しましては、保護者・職員・児童との三者の意識を比較しながら、評価結果をグラフにまとめました。また、少数意見ではありますが、自由記述・ご意見についても、評価項目に加えさせていただきました。(○肯定的な意見等 ●否定的な意見・要望等 ☆改善策等)

評価項目の中で、肯定的意見(よくできている・おおむねできている)が少ない項目を抽出しますと、以下のとおりです。次年度に向けての課題です。

<評価項目1>「元気な挨拶」「丁寧な言葉遣い」について

・保護者と教職員は、児童が率先した挨拶や、登下校時の挨拶ができていないため、それほどできていないと受け止めていると考えられます。一方、児童は、校内での様子から、「できている」と感じているようです。元気な挨拶は、豊小の重点指導項目です。あらゆる場面で挨拶ができたり、時と場に応じた言葉遣いができたりするよう、具体的な取り組みを進めていきます。

<評価項目5>「自分の考えを持ち、相手に伝えることができる」について

・職員の評価は「ややそう思う」が多いですが、児童の評価が低いです。意見を発表したり、考えを述べたりすることに、苦手意識を持っている児童が多いと考えられます。豊小では、今年度の校内研究主題を「伝え合う力」と設定して様々な取り組みをし、成果も見られています。更に、目標達成に向けて創意工夫をした授業を実践していこうと考えています。

<評価項目6>「家庭学習にしっかり取り組むことができる」について

・児童の評価が高く、保護者や教職員の評価はそれに比べて高くはないことから、大人とこどもの規準の違いの差があると思われます。また、成果として表れないとよい評価になりづらいと考えられます。成果という点では、児童、保護者、教職員ともに実感できるように、目標を設定して一つずつクリアできるよう指導し、長期的な目標の達成に向けて取り組んでいくようにします。

<評価項目9>「食事に関心を持ち、バランスの良い食べ方ができる」について

・学校においては、成長期にある児童にとって大変重要となる食事に関する知識を、食育という形で指導を行っていきます。また、日々の給食について関心を高められるよう、栄養士と連携してまいります。

<評価項目10～19>「教職員の姿」「学校管理組織運営」

・保護者の皆様と教職員とが、学校や教職員の様子や取組を振り返って見たときに意識が一致していることが連携を図っていく上で大切なことです。頂戴いたしましたご意見を参考にさせていただきます。これからも保護者の皆様の期待に応えられるよう、努力してまいります。